

金属資源循環の課題と 安定供給にむけて

— 資源クライシスに備えて —

【開催趣旨】

科学技術交流フォーラムは、東京大学産学連携協議会会員企業等を対象として、東京大学研究者が研究成果や「知」を発信する「産学出合いの場」を提供してきました。今回の第22回フォーラムは、物質の資源問題として「金属資源循環の課題と安定供給に向けて」を取り上げます。

現在、レアメタルにおける資源調達問題が顕在化しています。そもそも資源の乏しい日本にとって資源調達は大きな課題であります。また、世界の一部に遍在する資源の獲得はますます激化し、今後は途上国のさらなる経済発展が見込まれるため、コモンメタルでも輸出国の情勢により原材料が日本に入りにくくなることが懸念されます。

基幹原料である金属やその化合物を長期的にかつ安定的に日本の産業界に提供するためには、産学官が連携して(1)供給源の多様化、(2)備蓄を含む資源循環の明確化、(3)精錬を含む3R(リデュース、リユース、リサイクル)技術の開発、(4)代替材料や新規材料の開発の4点の課題について多角的に取り組む必要があると考えます。本フォーラムでは前述の4課題について各分野の第一線で活躍する研究者が分かりやすく解説するとともに、近年の資源問題のパラダイムシフトに対して安定した社会構築のための提言を行うべく企画いたしました。

レアアースに関しては、すでに様々な形で活動が開始されていますが、本フォーラムを契機として、さらに産学官連携にむけて具体的に学際的・業際的な検討が展開され、課題解決に向けて共に歩みを進められることを期待します。

日時 **2011年12月7日(水)** 13:00~17:50 (交流会 18:00~19:30)

【フォーラム】東京大学 武田先端知ビル5階 武田ホール 本郷キャンパス (浅野地区)

【交流会】東京大学 武田先端知ビル ホワイエ

東京都文京区弥生 2-11-16 根津駅(東京メトロ千代田線)徒歩5分、東大前駅(東京メトロ南北線)徒歩10分

主催 東京大学産学連携本部

参加定員 200名/事前申込制(申込はホームページで、先着順)

参加費 フォーラム:無料/交流会:3,000円

申込締切 11月30日(水)

申し込み & 東京大学産学連携協議会運営本部事務局(東京大学産学連携本部内)

問い合わせ先 <http://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/jp/event/forum/index.html>

本フォーラムは、文部科学省「イノベーションシステム整備事業(大学等産学官連携自立化促進プログラム)」の支援を受けて開催するものです。



金属資源循環の課題と 安定供給にむけて

－ 資源クライシスに備えて －

プログラム

- 13:00～13:05 開会挨拶 保立 和夫（東京大学 産学連携本部 本部長）
- 13:05～13:10 挨拶 松本 洋一郎（東京大学 理事・副学長）
- 13:10～13:45 特別講演 レアアースを巡る最近の動向と今後の課題
星野 岳穂（経済産業省 製造産業局 非鉄金属課 課長）
- 13:45～14:30 基調講演 レアメタルの資源問題と対応
岡部 徹（東京大学 生産技術研究所 サステイナブル材料国際研究センター 教授）
- 14:30～15:05 講演 1 新しい海底鉱物資源“レアアース資源泥”の発見と
その開発可能性
加藤 泰浩（東京大学 大学院工学系研究科 システム創成学専攻 准教授）
- 15:05～15:40 講演 2 人工物圏（社会）における物質循環の“見える化”
醍醐 市朗（東京大学 大学院工学系研究科 マテリアル工学専攻 特任准教授）
- 15:40～15:50 休憩
- 15:50～16:25 講演 3 鉄、シリコンの精錬技術
森田 一樹（東京大学 生産技術研究所 サステイナブル材料国際研究センター 教授）
- 16:25～17:10 招待講演 ネオジム磁石と資源－10万t/年の巨大需要に向かって－
佐川 真人（インターメタリクス株式会社 代表取締役社長）
- 17:10～17:45 講演 4 ITO（酸化インジウムスズ）代替透明導電材料の開発
長谷川 哲也（東京大学 大学院理学系研究科 化学専攻 教授／
神奈川科学技術アカデミー イノベーションセンター グループリーダー）
- 17:45～17:50 閉会挨拶 寺澤 廣一（東京大学 産学連携本部 産学連携研究推進部 部長）